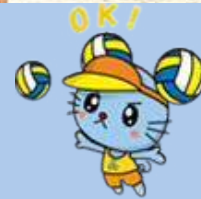




令和2年度 品川区当初予算案

プレス発表資料



わ!しながわ

令和2年 2月4日

令和 2 年度予算（案）の編成にあたって

2020 年、いよいよ東京 2020 大会が開催されます。

品川区では、かねてから「子どもたちへの夢のバトンタッチ」と「まちのにぎわいと発展」のスローガンを掲げ、機運醸成やまちづくりに様々取り組んできました。

大会開催に合わせて整備をした五反田リバーステーションや大井ホッケー競技場周辺の道路整備や無電柱化も着実に進んでいます。また、街中や交通機関などにも、大会のエンブレムやキャラクターなどが多く見られ、区の応援キャラクターなども活躍し、その機運は高まってきています。

令和 2 年度は、これまで培ってきた機運醸成等の事業の集大成を行い、大会後には、それらをレガシーとして未来の品川区を支える礎とします。

一方、品川区を取り巻く社会経済状況は、大きく変貌しました。

人生 100 年時代という超長寿社会の到来をはじめ、多文化共生や多様な生き方、さらには AI などに代表される新技術の活用など、新たな時代への対応が必要となっています。

こうした課題認識のもと、区の未来の道筋を描く、新たな長期基本計画を検討してきたところです。様々な貴重な意見を頂戴し、活発な議論を経て、昨年 12 月に計画策定委員会から計画素案の答申をいただきました。これをもとに、新たな長期基本計画を策定いたします。

令和 2 年度は、この初年度であり、計画を実現する上で大切な年となります。

以上のことから、令和 2 年度予算は、東京 2020 大会を区民と一緒に盛り上げ未来につなぐことと、10 年後の将来像を具現化する新長期基本計画のスタートダッシュするための予算とし、新たな課題に果敢にチャレンジします。

編成にあたっては、業務執行体制を中心に事業内容を深く精査し、これまで培った基金を活用して、一般会計予算を前年度比プラス 0.3%となる 1,883 億 2,500 万円としました。

今後も効果的・効率的な区政運営に努め、健全財政を堅持しながら、区民が真に必要なとする施策を迅速かつ的確に推進します。

令和 2 年 2 月

品川区長 濱 野 健

◇品川区長期基本計画について

1. 品川区長期基本計画の策定

品川区長期基本計画は、2008（平成 20）年 4 月に策定した「品川区基本構想」に掲げる区の将来像「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」を実現するため、2009（平成 21）年 4 月に策定しました（平成 26 年改訂）。

この度、2018（平成 30）年度をもって計画が終了したことから、区内外の社会経済状況の大きな変化を捉えるとともに、今後の将来動向についても十分に考慮したうえで、将来に向けた区の方針と取り組みを示す新たな長期基本計画を策定しています（計画期間：2020（令和 2）年度～2029（令和 11）年度）。

2. 新計画策定の視点と計画の体系

(1) 未来につなぐ 4 つの視点

訪れたい、住みたい、住み続けたいと思える魅力的で持続可能な品川区を築くために、本計画は、目標年次である 2029（令和 11）年までに想定される課題の解決やその後の品川区の未来を見据え、次の 4 つの視点を踏まえて策定しています。

【未来につなぐ 4 つの視点】

- ① 超長寿社会に対応する視点
- ② 多文化・多様な生き方を尊重する視点
- ③ 強^{きょうじん}靱で魅力あるまちを未来につなぐ視点
- ④ 先端技術を活用して課題解決と発展を図る視点

(2) 「地域」・「人」・「安全」の 3 つの政策分野

前述の「未来につなぐ 4 つの視点」と世論調査等から浮かび上がる区民ニーズに基づき、取り組むべき施策を分かりやすく示すため、「地域」・「人」・「安全」の 3 つ政策分野で構成する計画体系とします。これら 3 つの政策分野は、いずれも区民生活を支える重要な要素であり、相互に連携を図りながら、多様化する区民ニーズに応える取り組みを進めていきます。

【4 つの視点と 3 つの政策分野のイメージ】



◇令和2年度予算の概要

一般会計 1,883億2,500万円、前年度比0.3%増の予算を編成した。

■当初予算の比較

(単位:千円,%)

会計区分	令和2年度	令和元年度	増減額	伸率
1 一般会計	188,325,000	187,754,000	571,000	0.3
2 国民健康保険事業会計	35,052,658	36,417,815	△ 1,365,157	△ 3.7
3 後期高齢者医療特別会計	8,903,629	8,646,865	256,764	3.0
4 介護保険特別会計	26,100,303	25,492,508	607,795	2.4
5 災害復旧特別会計	1,500,000	1,500,000	0	0.0

■一般会計 歳入

(単位:千円,%)

区分	令和2年度	令和元年度	増減額	伸率
特別区税	51,219,700	47,821,000	3,398,700	7.1
うち、特別区民税	48,032,000	44,634,500	3,397,500	7.6
地方消費税交付金	11,380,000	8,050,000	3,330,000	41.4
特別区交付金 (都区財政調整交付金)	41,000,000	42,100,000	△ 1,100,000	△ 2.6
国庫支出金	26,335,378	27,750,525	△ 1,415,147	△ 5.1
都支出金	17,354,996	16,094,614	1,260,382	7.8
繰入金(基金繰入金)	19,908,458	24,978,812	△ 5,070,354	△ 20.3
その他	21,126,468	20,959,049	167,419	0.8
計	188,325,000	187,754,000	571,000	0.3

■一般会計 歳出

(単位:千円,%)

区分	令和2年度	令和元年度	増減額	伸率
議会費	851,410	857,861	△ 6,451	△ 0.8
総務費	19,627,554	21,179,726	△ 1,552,172	△ 7.3
民生費	94,983,511	92,605,479	2,378,032	2.6
衛生費	13,878,098	12,399,094	1,479,004	11.9
産業経済費	2,701,497	2,743,146	△ 41,649	△ 1.5
土木費	26,956,666	31,775,740	△ 4,819,074	△ 15.2
教育費	27,768,199	24,550,887	3,217,312	13.1
公債費	1,258,065	1,342,067	△ 84,002	△ 6.3
予備費	300,000	300,000	0	0.0
計	188,325,000	187,754,000	571,000	0.3

◇予算のポイント

歳入は、特別区民税および消費税率改定により地方消費税交付金が伸びているものの、都区財政調整交付金は、法人住民税が一部国税化されたことにより、8年ぶりの減となった。歳出では、武蔵小山、大井町周辺再開発の一部地区が整備完了に伴い減となっているが、オリンピック・パラリンピック関連、受動喫煙および歩行喫煙対策、児童相談所移管、環境学習交流施設や福祉施設などの公共施設整備費に予算を増額している。

◇歳入予算・財源の確保

(1) 特別区税の税収見込み

特別区税の大半を占める特別区民税は、納税義務者数の増、ふるさと納税の拡大などの減要因を見込み、480億円、前年度比34億円、7.6%増を見込んだ。

(2) 特別区交付金（都区財政調整交付金）

都と区および23区相互間の財政調整を目的として区へ交付される特別区交付金は、法人住民税一部国税化の減収の影響により、410億円、前年度比11億円減、2.6%減を見込んだ。

(3) 徹底した行財政改革

予算編成にあたっては、業務執行体制を中心に直営事業の委託化など経常的な事業において精査し、職員のマンパワーを活用する見直しを行った。

(4) 基金の活用

区は、これまで堅実な財政運営と職員定数削減、堅調な区税収入などにより、緊急の課題や将来必要な行政需要に取り組むための基金を積み立ててきた。

令和2年度予算においては、基金199億円を取り崩し区政の喫緊の課題に対応する。

(5) 税源偏在是正措置について

国による法人住民税の一部国税化、地方消費税清算基準の見直し、さらには返礼品を目的としたふるさと納税の増加による特別区への影響額は、約2,300億円（品川区で約105億円（区立学校2校分の改築費用に相当する額））に迫る規模が見込まれている。

区としては、自治体間で財源を奪い合うことではなく、全国各地域がともに発展成長しながら共存共栄を図る取り組みを推進していく。

No.	項目	担当課	頁
オリンピック・パラリンピックとそのレガシー			
1	東京2020大会を体感しよう！	オリンピック・パラリンピック準備課	9
2	パラリンピック競技を応援しよう！	オリンピック・パラリンピック準備課	10
3	しながわハウスで盛り上がろう！	オリンピック・パラリンピック準備課	11
4	オリンピック・パラリンピック教育の推進 ～学校2020レガシーの構築に向けて～	指導課	12
5	児童センター・すまいるスクールの 東京2020大会に向けた取り組み	子ども育成課	13
6	区立保育園の東京2020大会機運醸成	保育課	14
7	幼稚園・保育園 東京2020大会応援 3競技応援キャラクターグッズで園児の安全対策	保育施設調整担当 保育支援課	15
8	しながわへようこそ！船でおもてなし ～会場・主要駅・観光地を結ぶ船の運航～	文化観光課	16
9	水辺のにぎわい創出へ ～舟運通勤等社会実験～	河川下水道課	17
10	東京2020大会まちづくりでおもてなし	道路課・公園課 ・河川下水道課	18
11	ごみのないキレイな街でおもてなし ～東京2020大会期間中ごみ収集を強化～	品川区清掃事務所	19
12	訪日外国人向けプロモーション強化とレガシー創出	広報広聴課	20

No.	項目	担当課	頁
新長期基本計画スタート(新たな品川区の道を拓く) ～4つの視点と3つの分野～			
視点1…超長寿社会に対応する視点			
13	STOP受動喫煙！防止対策の強化	健康課	21
14	コンテナ型屋外喫煙所の設置	生活安全担当	22
15	防災機能の強化と福祉機能の充実 ～国家公務員宿舎敷地の活用～	木密整備推進課 障害者福祉課	23
16	障害者グループホーム等整備費補助を増額 ～誰もが地域で共に暮らせる共生社会の実現に向けて～	障害者福祉課	24
視点2…多文化・多様な生き方を尊重する視点			
17	性的マイノリティ向け交流スペース 「みんなのひろば」を提供	人権啓発課	25
18	子どもや若者の活動拠点整備の検討	子ども育成課	26
19	Let's play together！障害者スポーツ	スポーツ推進課	27
20	特別支援学級の整備	教育総合支援センター	28
視点3…強靱で魅力あるまちを未来につなぐ視点			
21	避難所の対応強化 ～停電対策と避難生活の環境改善～	防災課・庶務課	29
22	災害時における避難行動要支援者への支援の充実	高齢者福祉課 ・福祉計画課・防災課	30
23	災害時の緊急情報収集・発信体制の強化 ～ドローン・スマホアプリの活用～	防災課	31
24	災害に強い品川区へ 無電柱化の促進	道路課	32
25	区の活力を生み出す商店街支援の強化	商業・ものづくり課	33
視点4…先端技術を活用して課題解決と発展を図る視点			
26	プログラミング教育の推進 ～コミュニケーションロボットの活用～	教育総合支援センター	34
27	スマホから区民の疑問を解決！ AIチャットボットで区民サービス向上	情報推進課	35
28	RPA・AI-OCR活用による業務効率化 ～職員の力を区民サービスの充実に～	情報推進課	36
29	創業・スタートアップ支援の充実	商業・ものづくり課	37
30	情報通信業への支援を強化	商業・ものづくり課	38
31	いつでも どこでも 簡単手続き 国民健康保険料Web口座振替受付サービスを導入	国保医療年金課	39
32	キャッシュレス決済の拡大による区民サービスの向上	情報推進課・税務課 ・戸籍住民課 ・国保医療年金課	40

No.	項目	担当課	頁
分野1…地域 にぎわい 活力			
33	外国人材受け入れ支援を強化 ～中小企業の人材確保をバックアップ～	商業・ものづくり課	41
34	外国人介護人材受け入れとICT活用を推進 新たな福祉人材確保策	高齢者福祉課	42
分野2…人 すこやか 共生			
35	児童虐待の根絶に向けて 「子ども家庭支援センター」の組織化	児童相談担当	43
36	区立児童相談所の開設に向けて	児童相談所移管担当	44
37	子どもの食の支援をきっかけに家庭への支援へ ～ガバメントクラウドファンディングを継続実施～	子ども家庭支援課	45
38	食の支援を通じた自立支援の充実へ フードパントリーの立ち上げ支援	生活福祉課	46
39	区立保育園の改築・民営化 ～安心で良好な保育環境へ～	保育施設調整担当	47
40	高まる保育ニーズへの対応 私立保育園の新規開設支援等	保育支援課	48
41	私立保育園における園庭等の整備を支援	保育支援課	49
42	学校と幼稚園の改築 ～安全・安心で良好な教育環境に向けて～	学校施設担当 ・保育施設調整担当	50
分野3…安全 あんしん 持続			
43	高齢者、ひとり親が安心して住み続けられるまちへ ～住まいの確保を支援～	住宅課	51
44	燃えない・燃え広がらない しながわ ～接道不良宅地改善検討～	木密整備推進課	52
45	(仮称)品川区立環境学習交流施設の整備	環境課	53
46	放置自転車のないキレイな街でおもてなし ～放置自転車の指導整備・撤去・返還～	交通安全担当	54
47	コミュニティバス導入に向けて	都市計画課	55
変化に対応する持続的な区政運営			
48	新庁舎建設に向けた庁舎機能検討	経理課	56
49	区民のアイデア発！区のオープンデータを活用した公式アプリ	情報推進課	57